

■日程 10月27日(金)

■場所 長狭学園体育館

	質問	回答者	回答
1	<p>【地域福祉の観点から見た主基公民館の存続について】</p> <p>主基公民館は、10年後までに整備・統合という方向性のようなが、現在、主基公民館は、独居の高齢者への給食づくりを行うなど、地区の福祉活動の一つの大事な柱となっている。主基協としては、地域福祉の観点からも、ぜひ存続してもらいたい。</p>	生涯学習課長	<p>公民館等再編の短期方針では、令和7年度末で太海・田原・吉尾公民館が閉館、長期方針では、令和14年度末をもって中央・大山・天津小湊公民館、新しく整備を予定している江見公民館以外の館が閉館となります。この方針については、さまざまな議論を重ねたうえで、皆様からのご意見やご要望を受け、さらにパブリックコメントなど所定の手続きを経て策定されたものであり、尊重すべきものと考えています。</p> <p>その一方で、この編成方針は、現時点の状況を踏まえた計画であり、大きな社会的変動等があった場合、必要に応じて見直すといった一文も明記されています。地域福祉の観点からの公民館の利用については、今後、福祉課との協議や地区社会福祉協議会の皆様のご要望を踏まえ、今後の公民館のあり方について検討してまいります。</p>
2	<p>【吉尾公民館の再編について】</p> <p>公民館再編方針で吉尾公民館は令和7年度末に廃止することが決定している。吉尾公民館は、地域に必要な公共施設であり、高齢者の多い長狭地区で、公民館のサークル活動はライフサイクルの重要な一つとなっている。再編ではなく、今あるものに手を加えて継続させることに知恵と汗を流していただきたい。吉尾公民館を存続させることができないのであれば、吉尾地区にも同様に新たな集会場を作るよう要望したい。</p>	企画総務部長	<p>公民館の再編については、公民館だけではなく、本市の多くの公共施設が昭和40年、50年代の高度経済成長期に建設されているため、建設から40年以上が経過し一斉に更新時期を迎えており、これらの施設の維持管理が大きな課題となっています。この状況は、本市だけではなく全国的な課題でもあり、総務省から公共施設等総合管理計画の策定が要請されました。この策定に当たり、公共施設の老朽化に係る将来更新費用を試算したところ、保有する公共施設を適正に維持管理、更新していくことは困難との結果に至りました。計画期間の令和22年までに現在保有する公共施設の面積から3万平米以上を削減する目標を定めています。またこの計画を踏まえ、公共施設等個別施設計画を令和2年度に策定していますが、公民館等の更新・再編案として旧中学校単位での集約、複合化等を検討することとし、その目標年次を10年以内としているため、本年2月に公民館等再編方針を策定しました。この基本的な考え方としては施設を統合集約し、集中的な整備を図り、快適な環境を創設しようとするもので、この方針に基づき再編を進めさせていただければと思います。他地区についても公民館の避難所機能の代替機能の確保について要望をいただいております。現在、その対応について話し合いをしています。ご要望の内容は地域の実情などさまざまであり、改めてお話を聞かせていただければ、と思っています。</p>
		生涯学習課長	<p>去る8月に全ての公民館で説明会を開催した際、太海・田原・吉尾の公民館の利用団体が新しく活動場所を探すことになる皆様には、生涯学習課が責任を持って活動場所の手配をお手伝いさせていただく旨をお約束しました。</p> <p>また、3館以外の公民館の利用団体には、今後の利用調整にあたり、活動日時が重複した場合、平等な条件での利用調整となることをご理解いただくようお願いしてきました。現在、全ての定期利用団体の皆様に対しアンケートを行っており、活動を希望する公民館や曜日、時間帯についてきめ細かく伺っています。今後、その結果に基づき、利用団体皆さんがこれまでどおりの活動ができるように努めてまいります。</p> <p>また、公民館を更に利用頂くためには、魅力的な公民館活動やサークル活動が必須であり、現在、生涯学習課職員と各公民館長が一丸となり、魅力ある主催教室やサークル活動の創出に向け調査研究に取り組んでいます。皆様からも、主催教室についてご要望があれば、生涯学習課にご連絡いただきたいと思います。</p>

	質問	回答者	回答
	<p>《引き続き》 「利用団体に対しては責任を持って対応する」というのは具体的にはどういったことか。</p>	生涯学習課長	<p>9月から利用団体の皆様にアンケートを行っており、いくつか今回回答が返ってきています。内容としては、第一希望としてどこの公民館を利用したいか、第二希望はどこか、利用に当たって何か大きな備品など必要なものはあるか、それから全般にわたる自由意見などが質問項目となっています。皆様からいただいた結果を元に、公民館で割り振りをして、重複があるかどうか、こういったものを検証していきます。7年度末か7年度初めからの公民館の利用について重複がないかどうかを調べ、重複があれば、その重複している定期利用団体と調整をする。こういった作業を丁寧に進め、今の時点からのアンケートの調査、調整を早めに進めています。定期利用団体の皆様に9月からアンケートを行っていますが、主な質問内容は、活動場所として公民館の第一希望と第二希望についてのほか、大きな備品等の有無、自由意見等となっています。</p> <p>今後、全ての回答を回収後に、令和7年度からの各公民館の利用において、団体の重複状況を今の段階から確認し、重複団体があるようであれば、生涯学習課が間に入り、調整する作業を丁寧に進めていきたいと考えており、以上が「生涯学習課が責任を持って対応する。」と申し上げた具体的な内容となります。</p>
3	<p>【チョイソコ運行の週3から週5への再考について】 地域交通は、地域で育てていかなければならない時代になっていると思う。長狭地区で不安なのは、この実証運行を週5から3に減らすこと。ぜひ、5日運行に向けて再考をお願いしたい。</p>	企画政策課長	<p>令和7年度に週5日に戻す可能性については、来年度実証運行をし、改めて最適な運行日数、運行方法などを検討させていただければと考えています。現状では、長狭線の維持にも多額の費用、補助金が見込まれる状況があります。そうした状況で週5日まで戻すというのは、現実的には難しいのという見通しをもっています。チョイソコかもがわの収支の状況については、令和4年度の実績では、経費が約1,300万円、これに対して運賃収入は約110万円、スポンサー収入は約170万円、差額つまり赤字は約1,020万円であったと伺っています。運賃のみで赤字幅を埋めていくということは、非常に難しい状況です。チョイソコを維持していくには、どの程度効率化を図りながら運行を維持していくか、という視点は欠かせません。10月中旬に開催した地区別説明会でも、週5に戻してほしいというご意見を複数いただきました。このご意見等は、事業主体である千葉トヨタ、鴨川タクシーにも共有し、対応を相談しました。タクシーの乗務員、あるいは車両に制約があり、来年度他地区へも展開していく状況では、長狭での週5日は難しいというようなご意見もいただいています。長狭地区では、区長会あるいは地区社協の皆さんを中心に利用促進に向けた取り組みなど、非常に熱心にいただいている状況の中で、大変心苦しく申し訳なく思っていますが、今申し上げたチョイソコの利用状況、長狭線との兼ね合い、市内公共交通の全体のバランスをみたくて考えさせていただいた運行日数であることを、ご理解いただきたいと思います。</p>

	質問	回答者	回答
4	<p>【チョイソコの週5運行について】            チョイソコの週5運行については、もうちょっと前向きに努力するという答えが欲しかった。お金がないでは済まないと思う。</p>	企画総務部長	<p>長狭地区の皆様には区長さんをはじめご理解、ご協力いただいていることを御礼申し上げます。平成30年に乗り合いタクシーを週2日で始め、令和2年度まで実証しました。そして、令和3年度からチョイソコ鴨川が運行を始めました。この間、千葉トヨタ自動車が運行経費の全額を負担して地域貢献実証運行ということで運行をしていただきました。さらに、現在1年間延長し、本年度までの運行を確保していただきましたが、先ほど企画政策課長が申し上げたとおり、なかなか令和6年度以降の運行については難しいということでありました。これを受け、市としては、チョイソコ鴨川という移動手段をまずは確保することを第一義に、必要な支援を行い、持続的・安定的なチョイソコ鴨川の維持・確保を図りたいと考えています。ただ、このような中で、他地区におけるチョイソコ事業の展開などに伴う市域全体の公共交通のバランス、また、交通事業者の人員確保などを総合的に協議・検討した結果、まずは週3日の実証運行とさせていただきたいと考えています。</p>
5	<p>【救急車・消防車が入らない道のハザードマップへの掲載、調査について】            昨年も言ったが、山間部で救急車が入らないところをハザードマップに書いてほしい。それに合わせ、救急車が入らない地区の世帯を調査していただきたい。日本には軽自動車の救急車や消防車があるので、そういうものを安房地区で購入できるような方向でお願いしたい。</p>	危機管理課長	<p>ハザードマップについては、昨年度もお答えさせていただいたとおり、いろんな情報が入ってしまうと防災の観点では見づらくなるという理由もあるので、ご要望の方にはお応えできません。また鴨川市は広い地域であるので、当然、救急車が全く入れない場所もあります。そういった場合は、安房消防では救急車と同時に消防車と一緒にいき、人力で対応しています。狭い道を全部調査して、というような部分については、難しいと思います。ただ、さまざまなかたちで安房消防と連絡を取りながら対応をさせていただきたいと考えています。</p>
6	<p>【長狭街道の高速バス運行の実現について】            これまで長狭街道に高速バスを走らせようと奮闘していたが、コロナで実現がストップしてしまった。みんなで応援してぜひ走らせたいと思っている。市としてどう考えているか質問したい。またこの部署が担当するのかということも表明してほしい。未来のためにも、高速バスを走らせて、通勤などできるようにもって行ってほしい。</p>	企画政策課長	<p>高速バスの実証運行については、令和元年11月から令和2年1月まで、亀田病院から長狭街道を通り、鋸南保田インターから横浜駅の東口までのルートで、1日当たり3往復を運行しました。その結果、残念ながら利用者は採算ラインに届かず、収支は1,575万円の赤字となり、バス事業者による自力運行は難しいという結果となりました。このほかの高速バスの事業については、平成30年に運行を開始した亀田病院と渋谷マークシティを結ぶ鴨川渋谷線、こちらは令和2年10月から全便運休しています。また令和2年実証の亀田病院と君津駅を結ぶ君鴨(キミカモ)ライナーも本格運行には至っておらず、コロナ禍もあり、厳しい状況にあったと伺っています。加えて高速バスと競合関係にあるJR、特に外房線の安房鴨川駅から勝浦駅、また内房線の安房鴨川駅から館山駅までの間も利用者が非常に減っているという状況は、報道でご承知のとおりだと思います。バスを巡る状況は非常に厳しくなっており、長狭線と金谷線の再編に伴い、来年3月をもって金谷線の東京湾フェリーまでの区間は、廃止される予定となっています。</p> <p>仮に長狭街道で高速バスが実現すれば、廃止される金谷線の代替としても位置付けられます。また保田小学校ではバスの乗り入れ環境を整備しているというお話も伺っています。長狭街道沿道でも、無印良品によって非常に特徴的な取り組みも展開されています。そうした環境の変化があるので、私どもとしても、民間の皆様と協力しながら、実現に向けて取り組んでいければと考えています。</p>

	質問	回答者	回答
7	<p>【主基地区の投票所について】 事前質疑応答一覧の「主基投票所の閉鎖問題」について質問した。主基小学校の体育館は緊急避難的ではなく、電気関係の不備が主な原因だというが、直した場合いくらにかかるのか教えてほしい。主基の投票所がなくなった場合、送り迎え、マイクロバス、職員配置、事務的なことはどうするのか。</p>	<p>選挙管理委員会 事務局長</p>	<p>主基地区の投票所が旧主基幼稚園に変更となり、約2年半が経過しました。以前から投票管理者や投票立会人、事務従事者から、トイレを使用できず、代わりに公民館のトイレを使用するのが不便であるとの意見をいただいていた。それを聞き、選挙管理委員会としては、見直しの検討に入りました。主基区内で投票所を1カ所設ける方針でありましたが、投票所として支障のない新たな施設を選定することができなかったため、暫定的な案として長狭学園を上げました。上小原や下小原にも集会所などさまざまなところがありましたが、地区に偏りがあり、なかなかこれだという施設が言えず、申し訳なかったと思っています。先ほど申し上げたとおり、主基地区でどこか良い施設はないかと区長に説明し、意見を伺ったところであり、主基地区から投票所をなくす方針を示したものではありません。閉鎖ということはもともと考えておらず、区長さんからいただいた貴重な意見をもとに、慎重に検討していきたいと考えています。今後は投票環境の公平性の確保や効率的な選挙事務の執行を図ることを目的に、投票所施設の立地や有権者の利便性を考慮し、何よりも地域の皆様のご意見を参考に、再度、慎重に検討させていただきたいと考えています。</p> <p>支援措置等については、例えば投票所が変更になり、既存の施設より不便となるなどの理由から、地域の方から代替案などがあった場合は、経費や人員の確保などについても考慮し、できるかできないか判断をしていきたいと考えています。</p>
	<p>≪引き続き≫ 役所はこういう電気設備や不具合の箇所には見積もりはとらないのか。</p>	<p>副市長</p>	<p>主基小学校については、その全体を民間活用するという前提で、遊休施設の活用を図ろうということになりました。そうした中で、この施設の修繕という点については、これまで想定をしていなかったため、見積もりはとっていません。地区の皆様から体育館を使いたいという声もいただいています。具体的に、体育館を残していくとなると、体育館をどう使っていくか、あるいはその地域の皆様がどうふうに使いたいのか、それが体育館がいいのか、それとも例えば幼稚園の部分がいいのか、そういったことも出てきます。今のところは全体として「遊休施設」として活用しようということになったので、具体的な見積もりはとっていないという状況です。その部分のご理解いただきたいと思います。</p>
8	<p>【国保病院の経営状態について】 長狭の国保病院の収支はどうなっているのか。</p>	<p>国保病院事務長</p>	<p>令和4年度の経常収支は、1億円余りの黒字となっています。</p>
	<p>【メガソーラーについて】 メガソーラーの事業者が変わり、市と新しい事業者との話し合いがあったと思うが、その内容について、説明してほしい。特に、設計の変更があるのかどうか。これからどういう話をする予定なのか。</p>	<p>環境課長</p>	<p>メガソーラーの事業に関しては、鴨川市と事業者の間で協定を締結しています。事業をやるならば安全に取り組んでほしいという内容ですが、事業者が変わっても、その協定については承継してしっかり遵守するように申し上げています。事業は、引き続き千葉県林地開発の許可を得ていますが、今、事業が今年の12月末まで休止になっています。再開をするのであれば、その設計内容をしっかり千葉県の林地開発担当の所管に示して、という協議が付けられているということを知っています。内容については、市でも状況把握に努めていますが、千葉県でも十分な内容であるという認識までは至っていない状況です。今後は、千葉県の林地開発を再開するならば、新しい見直された計画というものを事業者が示すと思うので、それをしっかり市でも確認しながら、必要なものについては意見などをお伝えしていきます。</p>

質問	回答者	回答
		<p>【市長】</p> <p>交通インフラについては、今後どう守っていくかどうか、これは大きな課題であると認識しています。道路、鉄道、そして高速バスなどのご意見を頂戴しました。その辺のところをしっかりと伝えながら、要望活動させていただいています。高速バスについては、今後どうしたら持続可能になるかどうか、皆さん方の声を大事にしながら伝えていきます。</p> <p>公民館については、特に長狭、主基、吉尾地区、さらには体育館について要望をいただきました。</p> <p>投票所については、主基地区から、あるいはそれぞれの今まであった地区から投票所をなくしてしまおうという考えは、妥当ありません。今後のことを考えたときに、どのような地区にどのような形で投票所があればいいのか、そういうことを含めて考えさせていただきたいという意味合いで、提案をさせていただいたものとなります。これからも皆さんと一緒に考えていくことができればと思っています。</p> <p>体育館については、体育館を含めた遊休施設をどう活用したらいいのか、皆さんと一緒に共有しながら今後の方向性を考えていくことができればと思っています。公共施設として活用するのも良し、あるいは民間活用ということも考えられます。そういうことを含めて一緒になって考えて、いい答えを見つけ出すことができればと思っています。</p> <p>市ができるもの、地区の皆さんにお願いしなければならないもの、助け合いながら、共有しながら、まちづくりを進めていきたいと思っています。</p>